

小中学校施設包括維持管理業務委託公募型プロポーザル審査基準

第1次審査(書類審査)

算定項目／【関連書類】	算定基準	配点	内 訳
業務実績／【契約実績書】 契約実績は上限で5件までとする。	過去10年以内に地方公共団体(人口7万人以上かつ10施設数以上)の公共施設において包括維持管理業務の実績数	20	1件あたり 4点
	過去10年以内に地方公共団体(人口4万人以上かつ5施設数以上)の公共施設において包括維持管理業務の実績数		1件あたり 2点
	上記以外の実績数		1件あたり 1点
見積金額／【見積書】	配点×(全企画提案者中最低見積金額)／(当該企画提案者見積金額)※小数点第一位を四捨五入	20	先の式に基づいて計算
		①小計	40

第2次審査(プレゼン審査)

審査項目	No.	審査基準	配点	優れている	やや優れている	中程度	やや劣る	劣る
基本項目	1	業務実施方針 包括維持管理業務の考え方を十分に理解しているか。効率のよい管理を行えるような考え方・仕組みとなっているか。	20	20	16	12	8	0
	2	人員体制・教育施設巡回員の実績 本業務に関連する部門の組織、人員体制(本部の応援体制や補充人員等)は充実しているか。配置予定の包括維持管理責任者のマネジメント能力、教育施設巡回員の十分な実績・技術力を有しているか。	30	30	24	18	12	0
	3	意思疎通・連携体制 委託者と受託者における業務を円滑に進めるための連携体制や意思疎通の体制は適切か。	15	15	12	9	6	0
業務品質の確保	4	現場体制、経験等 現場従業員の人員体制、業務経験、教育・訓練体制は十分か。サービス規則を遵守できる現場体制を有しているか。	15	15	12	9	6	0
	5	設備管理・保守業務の履行 日常点検により不具合等が発見できる体制か。再委託先(有る場合)への管理・指導体制は適切か。施設や設備の不具合が発生した場合の対応は優れているか。	20	20	16	12	8	0
	6	業務改善提案 受託者自ら業務内容をチェックし、定例会議の際に積極的な改善提案を行うなど、主体的に業務品質の向上につながる仕組みとなっているか。	20	20	16	12	8	0

対応能力 40	7	災害防止対策	事故や災害、急病発生時に備えたマニュアルや連絡体制は整備されているか。 火災、地震、風水害、感染症(クラスター)発生時の被害を最小限にする対策(予防策)が講じられているか。	10	10	8	6	4	0
	8	災害発生時対応	大規模災害や事故発生時、インフラが停止した場合の対応方法は優れているか。	15	15	12	9	6	0
	9	苦情対応	苦情が発生しないよう、社員に十分な接遇研修等を行っているか。苦情発生時の対応方法や改善策は適切か。	15	15	12	9	6	0
地域への貢献 10	10	市内業者、障がい者の活用	障がい者の活用について配慮しているか。再委託する場合、市内業者の活用について配慮しているか。	10	10	8	6	4	0
追加提案 90	11	教育施設の維持管理に関する提案	これまで維持管理に携わってきた経験を元とした、市内小中学校11校を適切に維持管理するための工夫に関する提案(例)計画的な長期修繕計画の提案など	20	20	16	12	8	0
	12	小中学校施設巡回員に関する提案	小中学校施設を適切に維持管理を行うための教育施設巡回員の活用方法(例)巡回頻度に関する提案など	20	20	16	12	8	0
	13	職員の負担軽減に関する提案	教育施設の維持管理に関し学校関係者や市職員の負担軽減に関する提案	20	20	16	12	8	0
	14	費用縮減に関する提案	光熱水費や将来の修繕費など、委託料以外の縮減のための効果的な提案をしているか。	10	10	8	6	4	0
	15	会社としての独自提案	見積もり金額の範囲内で行う事ができる会社としての独自提案(本提案内容につき増額は認めない。)	20	20	16	12	8	0

②小計 260

①+②=合計 300